

FLOWER

S

H

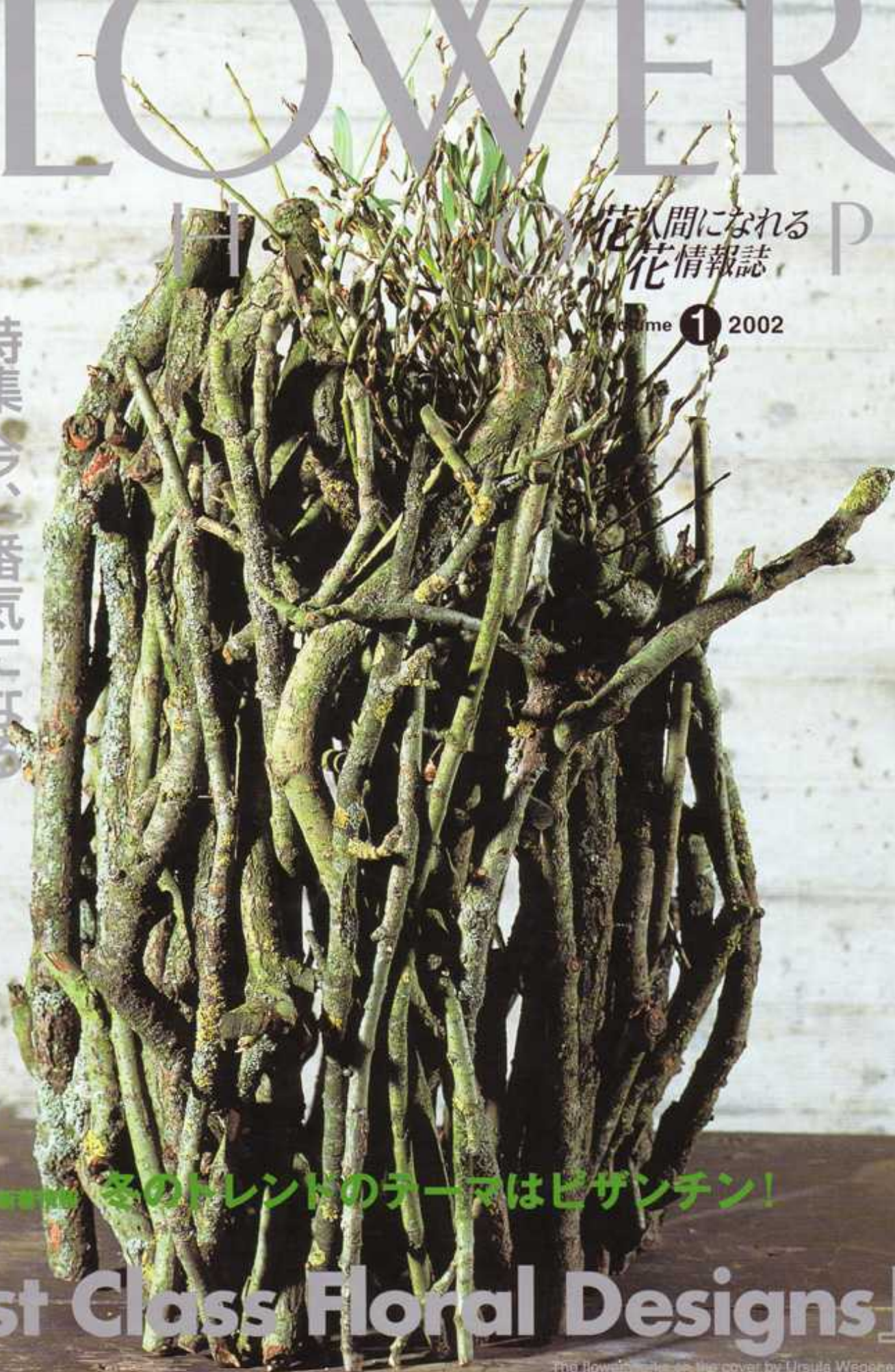
花人間になれる
花情報誌

P

Volume 1 2002

和
のアレンジ&ディスプレイ

特集 今、一番気になる



オランダからの新書情報

冬のトレンドのテーマはピザンチン!

絶賛発売中!

『First Class Floral Designs』

輸入サカキのシェア率は全国トップ!

デスタン(株)の優良サカキ その高品質の秘密は?

中国から多種多様のサカキを輸入し、国内で販売を行っているデスタン株式会社(石川県金沢市)。その徹底した品質管理と商品規格の多様さ、それに年間を通じての安定価格で支持を集め、輸入サカキのシェア率は全国ナンバーワンを誇っている。この質の高い商品展開をどう実現させているのか、その秘密に迫ってみた。



本サカキ(左)とヒサカキ。サカキは地域によって使い方や品物自体が変わる。関東でサカキといえばヒサカキをさし、関西では本サカキをさすことが多い。デスタンでは使用目的や習慣の違いに合わせて、店舗の地域を意識した高品質のサカキを提供しているという。



検品、梱包などの作業風景



サカキは品質が命

サカキは神棚にあげ、神様を祭るためのもの。だから、購入する側も特に品質にこだわり、鮮度と質の良いものを求めている。デスタン(株)はその点に着目、徹底した品質管理に尽力している。

サカキを購入する消費者の大半は、仏花や切り花と一緒に買っていき、サカキの値段が安ければ仏花や切り花も購入しやすくなり、結果的に花の販売促進にもつながる。また、サカキを1日、15日に祭る習慣は全国的なもので、売れる日が非常に特定しやすいのも特長だ。その日に合わせて切り花のセットや仏花を売るようにすれば花の売上げアップにつながるなど、高品質・低価格でサカキを販売することによるメリットは大きい。

ロスは最小限に

ロスを最小限におさえることも、高品質・低価格を保持するためには重要なポイントだ。これには、仕入れ段階での鮮度と後加工が決める手になる。デスタンでは発送日当日に商品の検品をし、発泡ケースに蓄冷剤を入れて梱包している。配送にも冷蔵便を利用して鮮度の良いサカキだけが届くシステムだ。また、鮮度を保つために欠かせない水揚げ作業が容易にできるように、ゴム止めの位置にも工夫をこらしている。デスタンのサカキは定元から3セ



大型特殊冷蔵庫。自社設計で、温度高低差はわずか±0.5℃以内だという。物流センター内にも基あり、業界初の水溫保管を実施している



デスタン本社



物流センター
(約1,320㎡)



ンチほど上がったところでゴム止めがしてあるため、止め直しの必要もなく簡単に作業ができるのである。

温度管理にこだわる理由

中国産サカキの品質は国産のものに負けないレベルであるにも関わらず、従来の物流の方法では高品質を保つことは難しかった。それが中国産サカキのイメージ低下につながっていたのだが、逆にいえば鮮度を保つ方法さえ確立すれば高品質のものを提供できるということ。デスタンはサカキの品質劣化の原因がエチレンガスであることを突きとめた。このエチレンガスは、植物の変色や葉落ちの原因となる。温度上昇と比例してサカキは自らエチレンガスを放出し、その影響で劣化するということが分かった。そこで、サカキの温度を管理することによって鮮度保持を実現させたのである。

デスタンはもともと食品・薬ものの取り扱いからスタートした会社で、そこで培われたノウハウがサカキの鮮度保持にしっかりと生かされ、現在の高品質を実現させている。しかも、1ヶ所（100束）以上からクール便で全国無料配達（ただし北海道は有料）しているという。花店経営者にとって、デスタンから学ぶものはとても大きいといえそうだ。

（問い合わせ先）

デスタン株式会社（本社）

石川県金沢市駅西本町1-6-8

TEL・076(223)6105